



3月定例議会 会派質問抜粋

3月の定例会は、公明党津山市議団として会派質問を致しました。質問項目は市長の施政方針から行い、その中から抜粋致します。

質問

児童発達支援センターの強化される具体的な内容とは。

答弁

「3点の取組み強化を予定している」

児童発達支援センター「キッズみのり」では、①療育相談会の実施や個別相談の充実により、障害が疑われる子どもや、ハイリスクな子どもと家族の支援を行う②業務経験の豊富な職員によるケース対応の経験を活かし、センターの職員の質の向上と専門職の人材育成を図る。③地域の事業所等への研修等の実施や指導・助言を行うことで、地域の療育の質の向上を図る。

質問

城泊・城下町泊の具体的な内容とスケジュールは。

答弁

「衆楽園の余芳閣は1棟貸しのホテルに。令和8年度オープンを目指す」

鶴山公園の鶴山館はフロント・ガーデン・カフェ機能。衆楽園迎賓館はダイニング機能、余芳閣は1棟貸しホテル。旧梶村家住宅は客室、ラウンジなどへの活用。令和8年度のオープンを目指す。

質問

ヤングケアラー支援の相談窓口設置と専門員配置について。

答弁

「家事等の支援を行う子育て世代訪問支援事業検討」

相談窓口は、こども子育て相談室。案件によっては他部署においても相談を受ける。ヤングケアラー等がいる家庭を訪問し、家事等の支援を行う子育て世代訪問支援事業の具体的な内容は検討中。進学や就職の専門支援員の配置は考えていないが、必要に応じて関係課につないでいく。

質問

障害のある方の「親亡き後」の支援はどのようなになっているのか。

答弁

「権利擁護の制度活用が出来るよう取り組む」

障害者が身近な地域において安心して暮らせる社会づくりのため、障害者の個々の状況に応じた適切な備えが出来るよう、相談支援事業所と連携を図りながら、障害福祉サービス等による支援を行うとともに、早い段階から成年後見制度や日常生活自立支援事業などの権利擁護の制度活用が出来るよう取り組んでいく。また、様々な支援を総合的に提供出来る地域生活支援拠点を整備している。